

ゆめかなえ

小平睦月医師インタビュー

わかりやすい腎臓病教室50回記念企画

自治体保健師・管理栄養士インタビュー

外来診療体制表

編集・発行

健和会病院広報委員会

Kenwakai.or.jp

info@kenwakai.or.jp



カテーテルアブレーション治療

小平睦月医師



治療中の小平睦月医師



カテーテルアブレーションで 不整脈を治します

小平睦月医師インタビュー

健和会病院に2019年10月待望の循環器専門医が着任しました。不整脈診療に力を入れており、カテーテルアブレーション部門を立ち上げました。自らを「街の元気な電気屋さん」と呼ぶ小平睦月医師に話を聞きました。

「不整脈」を根本的に治す治療

—カテーテルアブレーション治療とはどういうものですか。

小平:カテーテルアブレーションとは日本語で「心筋焼灼術(しんきんしょうしゃくじゅつ)」と言います。心臓は全身に血液を送るポンプの役目をしており、筋肉の塊ですが、実は“電気”で動いています。心臓の中には発電所(洞結節)と電気回路(刺激伝導系)があり、電気が流れることで心臓が動き、一定のリズムで血液を送り出します。不整脈とはこの発電所-電気回路の異常が原因で起こるもので別の発電所があったり、別の巡回する回路が形成されると頻脈になります。これを頻脈性不整脈と言います。

カテーテルアブレーションとは、頻脈性不整脈の代表的な根治術で、カテーテルを足・首の血管を通じて心臓に挿入し、異常な発電所や回路を高周波で心筋もろとも焼き切ってしまう治療です。言葉で書くと非常に単純ですが、実際の治療は少し複雑です。心臓の電気回路は超音波やCT・MRIで見つけることができないので(肉眼でも見えません)、実際に心臓の中にカテーテルを配置して電気の流れを読み取って異常な部位を診断しなければなりません。そのため多くのカテーテルを体内に挿入しなければならず、治療も数時間かかってしまいます。不整脈の種類によっては難治性のももあり、またペースメーカー植え込みや心破裂の合併症の可能性がある治療ですので、気軽にできるものでもありません。

脳梗塞の原因になる「心房細動」

—どんな不整脈が治療対象になりますか。

小平:不整脈には、大きく分けると速くなるのと遅くなるのがありますが、主に速くなる方がアブレーション治療の対象になります。代表的なものとして「心房細動」「心室性期外収縮」「発作性上室性頻拍」などがあります。特に「心房細動」は、脈のリズムがまったくバラバラになるものですが、これになると心臓の中で血液が淀んで血のかたまり(血栓)ができ、脳の血管に飛んで詰まってしまうと脳梗塞になりやすいのです。こうした不整脈は薬で抑えるのがむずかしかったり、副作用が出てしまうこともあるのですが、アブレーションはそれを根本的に治す治療です。個人によって有効性や安全性が異なりますので、受診後に十分に相談させていただき治療方法を決定します。

心臓の「電気関係」のトータルケア

—不整脈はどんな症状が出ますか。

小平:多いのは「動悸」ですが「失神」「めまい」という症状もみられることもあります。発作性の不整脈は、24

時間心電図でもわからない場合もあるのですが、「植込み型心電計」というものがあることで、これで診断がつけられるようになってきました。ごく小型なもので、局所麻酔下にて約10分で胸部の皮下に植込みます。

—遅くなるタイプの不整脈はどうするのですか。

小平:ペースメーカーという器械を体の中に入れる治療をする場合もあります。ペースメーカーも以前よりも器械自体が小さくなり、機能もよくなってきています。

—医師を志した理由を教えてください。

小平:祖父が盲目で鍼灸師をしていたんです。祖父のように地域の人役に立つ仕事がしたいと思ったのですが、祖父から「目が見えるのだから医者の方がいい」と言われて目指すようになりました。不整脈だけではなく、患者さんを長くトータルに診たい。特に心不全を抱えた患者さんがどう最期を迎えるかといったことにも取り組んでいきたいと思っています。

■小平 睦月(こだいら むつき)医師経歴

下伊那郡高森町出身

2012年 福井大学医学部卒業

長野中央病院・明石医療センターにて研修

2019年10月 健和会病院着任

趣味：登山、キャンプ、囲碁、サッカー

■専門分野

日本内科学会認定内科医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

日本循環器学会認定循環器専門医

小平睦月医師 循環器内科のご案内

毎週 月・火・金曜日 午前

予約センター TEL.0265-23-3115 (代表)



祝!! 第50回わかりやすい腎臓病教室

2019年9月7日開催



当院織野事務長から花束贈呈



保健師の方々から花束贈呈(左・熊谷医師)



栄養科特製記念ケーキ

当院主催の熊谷悦子医師が講師を務める「わかりやすい腎臓病教室」が記念すべき50回を迎え、80名の方の参加がありました。

この教室を開いたきっかけは、地域の保健師さん方の声からで2007年(CKD外来開設と同年)より始まりました。内容は、医師によるメイン講演とそれに続くサブ講演があります。サブ講演には、毎回異なる職種が講師(看護師・薬剤師・栄養士・検査技師・リハビリ・MSW・事務等)を務めています。今回サブ講演では、栄養科の減塩食ビッフェが参加者に振る舞われました。それに続く50回記念サプライズとして、地域の保健師の方々・当院職員から熊谷医師へ花束贈呈があり、栄養科で作った「記念ケーキ」等のプレゼントもあり参加したみなさんと一緒に食べました。

わかりやすい腎臓病教室 ご案内

年3回開催(1月・5月・9月)

詳細は病院ホームページ等にて告知します

お問い合わせ

健和会病院透析センター内 TEL.0265-23-3115(代表)



保険証を持っていない。

国民健康保険の短期保険証、資格証明書が発行されている。

病気や障害などで収入がなくなって困っている。

リストラや失業のため一時的に収入がなくなって困っている。

医療費の支払いをすると生活が困難になる。

無料または低額で診療を受けることができます

最初に審査を受けていただきますが、制度利用の可否にかかわらず、必要な治療をおこなっていきます。初めての方も安心して受診してください。

ご相談は
お気軽に

☎ 0265 23-3115

※普段の生活に影響がないよう守秘義務を守ります。
※社会福祉法第2条第3項第9号に基づいて実施。

「誰もが安心してかけられる病院」をめざして

社会医療法人 健和会 健和会病院



慢性腎臓病（CKD）外来の役割

透析は予防できる



大島 みどり 保健師
飯田市市役所



飯ヶ浜 教子 保健師
喬木村役場



松島 真澄 管理栄養士
喬木村役場



久保田 安子〔聞き手〕
当院 地域連携室・統括看護副部長

一健和会病院では地域の保健師さん・栄養士さんからの熱い思いを受けて慢性腎臓病(以下CKDと記載)外来を、2007年に開設して13年が経ちました。その当時の思いを聞かせてください。

飯ヶ濱:住民の健診結果を見ると腎機能のわるい方が沢山いました。このまま放置していいのか、透析になるのは仕方がないのかと思いながらあきらめていました。同年(2007年)に発行されたCKD診療ガイドを読むと、腎臓の専門医に繋がれば予防・改善できることがわかりました。

松島:腎臓について学習をはじめた頃で、透析が予防できる疾患だということを知りました。地元で専門医を探して、健和会病院の熊谷悦子先生に辿り着きました。

飯ヶ濱:保健師の仲間と健診データを持って、住民の方を受診させてほしい旨を先生に直談判しました。でも、断られてしまって。勉強をやり直して、もう一度お願いに行きました。熊谷先生も地域の実態を知っていただくことができ、CKD外来と地域の連携がはじまりました。当時は画期的なことで、全国の保健活動を考える自主的研究会で発表しました。CKD外来と地域連携の必要性について大学の先生の講演がありましたが、「当地域はすでにできている」とうれしい気持ちになりました。

松島:腎専門医がいて、地域連携室が窓口になってくれて、健和会病院に繋がることができました。

—当院の透析回診に協力してくれた中島医院院長 中島貞男先生もサポートしてくれた時期でしたね。

飯ヶ濱：先生にもお力添えをいただき、医師会にまで繋がりました。また、地域とかかりつけ医と専門医をつなぐ連携用紙をつくる時も森先生（飯田市立病院）も一緒になって助けてくれました。連携用紙で情報の共有が可能となり、特別受診枠を設けてくださって活動が始まりました。

—医師会の連携用紙ができて住民の方や患者さんをサポートしやすくなったと感じるところはどこですか。

飯ヶ濱：医療機関に相談しやすくなりました。今では開業医の先生から患者さんのことを相談されることもあります。また、「食」に関われたことが大きいです。

松島：医師の食事指示のもとでの栄養指導が安心してできるようになりました。

—頑張り続けられる原動力はなんですか。

飯ヶ濱：命と暮らし、住民の健康を守りたい意志だけでやっています。

—当院主催の学習会に患者さんと一緒に参加してくれますね。熱い思いと継続できた理由はどこにあったのですか。

飯ヶ濱：直接専門の先生のお話を聞いてもらいたい気持ちからです。図や写真などを使って説明してくれるので、わかりやすく説得力があり住民の方の意識が高まり行動に繋がることを期待しています。

松島：患者さん自身もイメージがわきやすいと思います。

大島：学習会への呼びかけをしなくても、住民の方が広報を見て出向いてくれるようになりました。会場で会って一緒に勉強しています。

—当院と連携する中でどのような地域貢献ができたと感じていますか？

松島：透析導入にならず定期通院で健康に過ごしている人がいることです。

飯ヶ濱：腎専門医がいる存在は大きく、医師会の先生との連携がよいことで、地域住民の健康を守る私たちはとても助けられています。引き続き「慢性腎臓病」医療を専門医の先生方と一緒に地域の中でリードして行ってもらいたいです。また、地域の保健師や管理栄養士と病院・地域の主治医と連携し、地域医療を今後ともお互いに支え合いたいと考えています。

2019年12月3日 喬木村役場にて



外来診療体制表		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	当日受付①	鷺見順教	牧内雅信	田中莉佳	関口恭弘	塚平俊久	交代制	
	当日受付②	小林奈津子	伊壺友希	前澤(第2週)	八木ひかる	八木ひかる		
	当日受付③	牛山(神経内科)	鷺見順教	小平睦月	倉橋真理	倉橋真理		
	午前	予約診療	倉橋真理	関口恭弘 平林直章	北原明倫 塚平俊久 関口恭弘 牛山雅夫	小林奈津子 北原明倫 牛山雅夫 塚平俊久	牛山雅夫 伊壺友希 横田昌 鷺見順教	熊谷悦子(第1週) 関口恭弘(第2週) 北原明倫(第3週) 牛山雅夫(第3週) 塚平俊久(第4週)
		午後	予約診療	熊谷悦子 伊壺友希	熊谷悦子 牛山雅夫	熊谷悦子 北原明倫 田中莉佳	塚平俊久 伊壺友希 (第1・2・4・5週)	八木ひかる 北原明倫
	夜間	予約診療			塚平(第1週) 清水(第2週)		熊谷悦子 (第1週)	
循環器	午前	予約診療	小平睦月	小平睦月	牧内雅信	牧内雅信 小平睦月 ペースメーカー外来 (第2・4週)	小平睦月	清水信明 (第4週)
	午後	予約診療			清水信明			
CKD	午後	予約診療	熊谷悦子	熊谷悦子 CAPD(第1・3週) HDD(第2・4週)	熊谷悦子			
SAS	午前	予約診療						八木(第1・3・5週)
嚙下	午後	予約診療		福村直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林直章					
もの忘れ	午前	予約診療				牛山雅夫		
	午後	予約診療	北原正和					
精神科	午前	予約診療			服部美秀			服部(月1回)
	午後	予約診療			服部美秀			
脳外科	午前	予約診療		北原正和		北原(第1・3・5週)	北原正和	
	午後	予約診療		北原(第1・3週)		北原正和		
外科	当日受付	本田晴康	赤澤智之	川田崇雄	川田崇雄	津澤豊一	熊谷/川田	
	午前	予約診療	熊谷嘉隆	本田晴康 熊谷(第2・5週)		津澤豊一 熊谷(第3・4・5週)	赤澤智之 本田晴康 (第4週)	
	振動病		熊谷(第4週)	熊谷(第1・3週)				
	午後	予約診療	熊谷(第2・4週)	熊谷(第1・3・5週)	熊谷(第5週)	熊谷(第2・4週)		
肛門外来	午後	予約診療				本田(第2・4週)		
乳腺外来	午後	予約診療	本田晴康 (偶数月・第3週) 赤澤智之 (奇数月・第3週)					
泌尿器科	午前		熊崎匠	熊崎匠		熊崎匠	熊崎匠	
形成外科	午前	予約診療	矢高森人			矢高森人		
	午後	予約診療		矢高森人	矢高森人			
小児科	午前		和田浩	和田浩	和田/鷺見	和田浩	和田浩	
	夕方		和田浩				和田浩	
禁煙外来	午前				八木ひかる			

2月末現在



社会医療法人 健和会

健和会病院

〒395-8522 長野県飯田市鼎中平 1936

●病院受付 TEL.0265-23-3115 FAX.0265-23-3129

●地域連携室 TEL.0265-23-3269 FAX.0265-23-3198

